



生活は
科学であふれてる

北海道の 住まいの これからを 考える

北海道の住まいは、多くの人の長年の努力によって、世界でもトップレベルの断熱・気密性能が得られるようになりました。地球温暖化問題が顕在化しつつある中、これからの住まいはどうあるべきなのでしょう？みなさんと一緒に考えます。

定員
40名
申込不要

2022.3.6 土 14:00
日 15:00

紀伊國屋書店札幌本店1階インナーガーデン
札幌市中央区北5条西5-7 sapporo55

講師

北海道科学大学
工学部 建築学科
准教授
平川 秀樹



主催：北海道科学大学、北海道新聞社 後援：札幌市教育委員会



SETSUENKA
北海道科学大学短期大学部
北海道工業大学短期大学部



HOKUTAKUAI
北海道科学大学薬学部附属施設
北海道薬科大学附属施設



TEIYUKAI
北海道科学大学経済学大学部附属施設
北海道経済大学附属施設



北海道科学大学
北海道科学大学短期大学部
+Professional

お問い合わせ

TEL 011-676-8664
E-mail chiiki@hus.ac.jp

北海道科学大学 地域連携・広報課

〒006-8585 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1

TEL: 011-676-8664 FAX: 011-688-2392 HP: www.hus.ac.jp



講師



北海道科学大学
工学部 建築学科
准教授

平川 秀樹

積雪寒冷地の住宅や建築物の環境負荷低減に関する研究を行っています。とくに、既存建物の省エネルギー改修に力を入れて取り組んでいます。

北海道の
住まいの
これからを
考える

突然のコロナウィルスの世界的流行から2年、それまでの生活は一変し、人々の暮らしや考え方にも大きな影響を与えました。一方、地球温暖化問題が一般に知られるようになってからおよそ30年、その影響は、近年の気象災害の頻発などによって、徐々に我々の生活を直接的に脅かすようになってきました。この問題も、近い将来、人々の暮らしや考え方に大きな影響を与えられと考えられます。

北海道の住まいは、多くの人の長年の努力によって、世界でもトップレベルの断熱・気密性能が得られるようになりました。その結果として、冬でも暖かくて省エネルギーな暮らしが実現できるようになったのです。しかし、世の中は常に変化しています。地球温暖化問題が顕在化しつつある中、これからの住まいはどうあるべきなのでしょう？みなさんと一緒に考えたいと思います。

2022.3.6 土 14:00 紀伊國屋書店札幌本店1階 インナーガーデン
15:00 札幌市中央区北5条西5-7 sapporo55

【新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い】

- * イベントご参加のお客様には、マスクのご着用をお願いいたします。
- * 当日、発熱・咳・全身痛などの症状があり、体調にご不安のある方は、参加をご遠慮くださいますようお願いいたします。
- * 会場内にてアルコール消毒液をご用意いたしますので、イベントご参加の前に必ずご利用下さい。
- * 状況によっては、中止や延期となる場合もございます。ご了承ください。最新情報は本学ホームページをご確認ください。
- * ご来場の皆様、スタッフの健康と安全を考慮してのお知らせとなります。ご協力何卒よろしくお願い申し上げます。

北海道科学大学
ホームページ

